

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年10月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100013
法人名	社会福祉法人 佳成会
事業所名	グループホームてらやま
所在地	鹿児島市吉野町6581番地2 (電話) 099-243-8811
自己評価作成日	令和3年7月5日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年10月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな木々に囲まれ鳥や虫の音で季節を感じながらゆっくりとした時間を過ごして頂けるホームです。窓からは雄大な桜島が眺め四季折々の景観を楽しませてくれます。

入居者様が自分の家での生活と同じように暮らせることを目指し、いつも笑顔で自分らしく穏やかで安心した生活ができるよう支援します。

ご家族様が気軽に来訪して頂けるような居心地の良い環境と親しみやすい職員であるように努めてまいります。

近隣の散歩や地域行事(夏祭りや運動会)等に参加する事で交流を図り地域住民の方々にとっても親しみやすいホームであるように心掛けています。入居者様の尊厳を保持しながら寄り添い自分らしい生活をして頂けるよう支援します。

職員は他職種と連携をし資質向上に努めてまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、吉野地区の自然豊かな農村地域の一角に平成18年に開設されており、広い敷地に2階建てで各階一ユニットずつ設置されている。周辺に同法人特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等があり、これらの事業所は「ケアガーデンてらやま」を中心に情報の共有や研修の実施、行政機関との連携、災害時の協力体制等が築かれている。騒音も無く遠くに桜島が望めるなど平穏に過せる環境で、少し離れた幹線道路沿いには医療機関や金融機関、中規模の商業施設、個人商店等が立ち並んでいて利便性も十分である。

管理者及び職員は、法人及びホームの理念に沿って利用者の尊厳や人格、想い、特性を大切にしながら、その人らしい生きがいのある平穏な日々が過ごせる支援に努めている。日頃の会話や面会、家族アンケート(年1回実施)、電話等で利用者や家族の意見、要望を丁寧に把握し、ケース会議等で協議して残存能力や自己決定に配慮した利用者主体のケアに取り組んでおり、本調査に係るアンケートの回答からも家族の信頼の厚さが窺える。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、ケース会議時に意見、要望を出し合って改善を図っている。勤務シフトには個人的事情や有給休暇の取得促進等も配慮するなど、笑顔の絶えない働き甲斐のある職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、理念に基づいたサービスが出来るように努めている。	利用者が「地域の人と触れ合いながら安心してその人らしい平穏な生活が出来る」支援をホームの理念に掲げ、法人の理念と共に事務室や更衣室に掲示して周知を図っている。毎月の目標も設定し、ケース会議等でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事へ参加する事で交流を図っている。 (コロナ禍の為、今年度は不参加)	自治会に加入し情報の把握に努め、通常は地域の会合やイベント等に参加し、散歩や買い物時には地域の人との会話を楽しみ、家族・友人の面会、施設見学、ボランティア等を積極的に受け入れるなど円滑に交流する関係が構築されているが、現在は、新型コロナウイルス感染予防のため買い物や外出、外食、ボランティア等の受け入れは自粛している。園庭及び周辺の散歩や農産物を頂くなどの交流や住民から寄せられる相談への対応等は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	三か月に一回の消防訓練に参加していただいたり、ボランティアに来られた方々に認知症について理解して頂いている。 (感染予防対策の為、ボランティアは中止している。)		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二か月に一回町内会長、民生委員、ご家族に参加していただき、行事の報告や意見など伺ったりしてサービス向上に活かしている。(感染予防対策の為、中止している。)	従来、会議は、家族や民生委員、自治会長等が参加して定期的開催してきたが、コロナ感染症の予防に配慮して、現在は利用者の状況や活動の内容等を資料にして委員に届けて意見等をもらっている。家族の意見、要望等はアンケートも実施して把握し、改善に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給者の入居者様には福祉課の担当者様の面会や病院受診、入退院時の報告連絡を行い協力関係を築いている。	介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、運営やケアに係る相談、生活保護受給中の利用者（現在6人）の処遇に関する事項、感染症予防に関連する協議等を行って指導や助言をもらうなど、ケアガーデンと連携して市担当者とは密に協力関係を築いている。市主催のズーム会議にも出席してサービスの向上を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を開催し、話し合いや勉強会を行い拘束しないケアに取り組んでいる。	身体拘束や虐待をしないケアの取り組みについては計画的（年2回）に研修を実施して周知を図り、ケース会議や毎日の申し送り時に振り返りや意見交換を行って拘束の無いケアに取り組んでいる、身体拘束適正化の指針を整備し、委員会も定期的（年4回）に開催している。昼間は玄関等の施錠は行わず、見守りや寄り添いで利用者の思いを把握し、尊厳や個性を大切にされた支援に努めている。不適切な言動が見られた時は注意し合うなど、日頃から改善に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的には高齢者虐待防止委員会を開催し、問題がないか話し合ったり、職員同士連携を取れるよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修やケース会議で資料を参考に勉強会を行い、制度の必要性を理解し活用できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に理解して頂けるように分かりやすく説明し、ご家族の質問等にお答えし、納得されるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会、年一回のアンケート調査を行い、意見や要望を聞きながら運営に反映させている。	利用者の思いは日頃の会話や表情、仕草等で理解に努め、家族からの意見や要望は面会や電話、手紙、アンケート、写真を添付した近況報告、法人の広報誌「花時計」等で利用者の状況を伝えながら把握して改善に繋げている。現在は新型コロナウイルス感染予防のため家族会は中止し、イベント等の家族参加は控えてもらっているが、面会は窓越しやテラスで姿を見せ合うなど工夫して実施している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のケース会議、合同ケース会議で意見を出し合い、提案など反映させるように努めている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、ケース会議等で意見や要望を気軽に出し合い、必要に応じて個人面談も実施して改善に取り組んでいる。ケアに関する助言やスキルアップを図るズーム研修を実施し、勤務シフトには有給休暇の取得促進や個人的事情にも配慮する等、笑顔に満ちた働きやすい職場づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の要望を取り入れたシフト作りを行い様々な状況にも対応できるように働きやすい環境整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員会議で研修を行ったり、外部研修に参加し、各自の仕事に対する意欲が持てるように努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	事業所間の研修や、同業者との会「よかど会」などで交流を深め、意見交換などによりサービスの向上に努めている。 (感染症予防対策の為、現在は中止)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日頃よりコミュニケーションを取る中で不安や要望を汲み取り信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に家族から本人の生活状況などを聞き取りをして何か要望等があったときは、密に連絡を取り合い信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の面談やホームの見学、また情報提供書を基にケアプランを作成し、サービス向上に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のリズムに合わせ、出来る事をして頂き、職員は出来ない事をお手伝いし生活づくりをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の近況報告にて本人の様子をお伝えしたり行事に参加された時の写真を送り元気な姿を見てもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の昔話に耳を傾けたりして、日々楽しんでいただけるように努めている。	利用者各人の馴染みの情報を把握して、通常は近辺の散歩や買い物、通院、一時帰宅、外食、墓参等を家族の協力を得ながら意向に沿って支援しているが、現在は新型コロナウイルスの感染予防のため、買い物や外食、外泊等は控えてもらい、家族とは短時間の面会や電話、手紙の取り次ぎに努めている。ホーム近辺の散歩時には挨拶を交わし農産物等を頂く等の交流は継続し、ドライブにより馴染みの街並みや景色を楽しむなど工夫して取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者個々の性格や関係性などを把握しお茶の時やレクの時にコミュニケーションが取れるように働きかけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院や特養に移られても、時折面会に行き話をしたり、家族からの相談を聞くなどして支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の関わりの中から本人の思いを汲み取り、出来るだけ意向に添った支援が出来るように努めている。	利用者の日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いを把握し、ケース会議や申し送り等で協議して、利用者主体の安全で生きがいのある暮らしを家族の意向も伺いながら取り組んでいる。利用者が希望する趣味（ぬり絵、パズル、ミシンを使っての縫製等）や食材の下処理、テーブル拭き、菜園での収穫作業等の取り組みを意欲や残存能力に配慮しながら個別に支援し、成果には評価や感謝の言葉も添えて達成感が得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者一人ひとりの情報を職員間で共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人らしく過ごせる為に、その日の心身状態や出来ることを見極めて現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回のケース会議でモニタリングを行ったり、日頃から職員の意見交換を行い、介護計画を作成している。	ケアプランには、利用者や家族の意向を丁寧に把握し、主治医の指示やモニタリング時の職員の意見等を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化時には実態に沿った計画に変更し、利用者や家族の理解も得ながらケアに取り組んでおり、実施状況は申し送りや業務日報等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状態変化時や、ご家族の電話内容など個人台帳に記録し、情報を共有し、必要に応じてプランの見直しに活かせるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族からの要望に対応し柔軟な支援が出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ひな祭り、敬老会などの行事には、ボランティアを受け入れ入居様が楽しむことができるよう支援している。 (コロナ禍以外)		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による定期往診や必要があれば他科受診を行い、適切な治療が受けられるよう支援している。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、定期的な通院や月2回の訪問診療も実施され、他科受診も家族と協力して同行している。協力医療機関との医療連携の体制を構築し、看護職員が主となって日頃から衛生や健康管理を徹底しており、健康状態を家族にも密に報告することで利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃の健康管理で気になることがある時は相談し病院受診や処置について指示を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院の際には、情報提供を行い、入院中は面会、病状の把握、病院スタッフとの連携をとっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族には重度化や終末期に向けた説明をその都度行い主治医とも連携をとり、ご本人にとってより良い環境を作り、支援に日々取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に対する指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得ており、「緊急時搬送に関する同意書」で意向を確認している。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族の意向を十分に聞き取り、主治医や看護師と連携して可能な限り希望に沿った支援に取り組んでいる。殆どの利用者が終末期には医療機関での入院受療を希望している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、事故発生に備えて、内部研修を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の方に来ていただき定期的に防災訓練を行っている。</p>	<p>夜間想定を含む主に火災発生を想定した訓練を、年2回実施し消防署の協力も得られている。緊急時には同法人の事業所や住民の協力体制が構築され、日頃から避難経路等の確認や災害の報道を基に意見を交わすなど防災への認識の共有に努めている。自家発電機や自動火災報知機、スプリンクラーが設置され、ラジオ、卓上コンロ等を備え、食糧品、飲料水、介護用品等も備蓄している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した言葉かけに気をつけている。特にトイレ利用時には声かけに配慮している。	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように研修の実施やケアの振り返り、意見交換等で認識を共有し、利用者の生活歴や習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めている。居室やトイレ、浴室等はプライバシー保護に配慮した構造になっており、衣服の着脱や排泄、入浴時の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定がしやすい環境や言葉使いを行っている。希望がかなえられるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	活動や行事への参加は個人の意見を尊重している。居心地よく生活できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴や更衣の際は、洋服を選んでもいただいたり、職員と一緒に選んだりしている。定期的にヘアカットや個人では入浴時髪染も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に合った量、形状にして提供している。片付けは負担にならないように出来る人に手伝って頂いている。	食事は利用者の何よりの楽しみで、関心も高いことから、好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限等に配慮した基本メニューを法人の管理栄養士が作成し、食材を工夫しながら調理している。利用者も簡単な下処理やテーブル拭き等を楽しみながら一緒に行っている。季節の行事食や外注の弁当、手作りのおやつ等、食事が楽しみとなるよう日々工夫しているが、新型コロナウイルスの感染予防のため外食や家族との会食は自粛している。食事や水分の摂取状況は利用者ごとに把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事の摂取量と月一回の水分量をチェックし、記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけや介助にて口腔ケアを行っている。夕食後は義歯を預かり洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々人の排泄のパターンを把握しその方に合った声掛けをしている。出来るだけトイレで排泄していただけるように支援している。	各利用者の排泄パターンを把握し習慣にも配慮した声掛け等で、可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の状態に応じた介護用品や方法を介護計画に反映させて支援しており、オムツからリハパンに変わるなどの改善がみられている。便秘の予防に繊維の多い食材や乳製品、水分の摂取及び運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日一回は牛乳又は乳製品を取り入れ、散歩など軽い運動も行っている。薬等で排便コントロールも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様のタイミングや希望、そして体調によって曜日や時間等をずらす等して対応している。また下剤服用後排便があり汚染した場合は清潔保持のため入浴支援している。	基本週2回の入浴を支援しているが、排泄時の汚染等には、その都度、シャワー浴等で清潔を保っている。順番や温度、時間、習慣、同性介助、好みのシャンプー等は柔軟に、個浴でゆっくり楽しんでもらっており、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当を支援している。入浴をためらう利用者には、無理強いないで時間の変更や声かけ等を工夫して、利用者自身が意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は適度な運動や活動を取り入れ生活のリズムに心がけながら夜間の安眠につなげている。その時の状況に応じて日中も適度な休息の時間を設けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった場合はスタッフ間での情報の共有に努め、申し送りシートに記入している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日中は個別に合った活動を（ぬりえ、字の練習、音楽など）をし、楽しみややりがいを状況に応じて取り入れている。また一か月に一回イベント行事を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良い日は、ホーム周辺の散歩に出ている。（声掛けを行い外気浴をしている。）	日常的に園庭やホーム周辺の散歩等を行い、ドライブ時には馴染みの街並みや景色を楽しむ等工夫しているが、新型コロナウイルス感染予防の為、買い物や一時帰宅、墓参等の外出は控えてもらっている。また地域のイベントの殆どが中止され、ホームの行事も十分には実施できない状況であるが、園庭の野菜や花を愛でたり、室内でゲームを楽しむなど、工夫して気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理が困難な利用者様については職員管理になってくるが、使用するときには利用者様の希望により同意を得ている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時には必要に応じて電話が出来る状況であり、本人宛にかかってきたときには電話の隣りに椅子を用意する等環境作りをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>中庭に季節の花や野菜を植えたり、余暇時間は、音楽を流したりくつろげる空間作りに努めている。随時ホーム内の温度湿度空気の入替え、消毒等の調整を行っている。</p>	<p>利用者が昼間の殆どを過ごすリビングは余裕あるスペースが確保されて明るく、動線や利便性に配慮してテーブルやソファ等が設置されている。随所に活花や利用者の作品等が飾られ、対面キッチンからは調理の音や臭いが感じられて家庭的で和やかな雰囲気となっている。清掃や整理整頓が徹底され、手指消毒薬や低温度オゾン発生装置等が設置され、不快に感じる音や臭いもなく、利用者は四季を感じながら穏やかに過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間（ホール）では利用者の関係によってテーブル・椅子の配置ができています。共用空間でのソファは利用者が自由に場所を移動し、落ち着いて過ごす時間が出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安全に過ごせるよう家具やベッドの配置を考えており、使い慣れた寝具用品を持ち込まれていたり、家族写真等も飾られている。</p>	<p>居室はフローリングに掃出し窓の構造で明るく、エアコン、ベッド、収納ケースが設置しており、利用者の意向に添って整理整頓を支援している。利用者が戸惑うことの無いように、入口には造花等で判別できるよう工夫されている。利用者は自宅で使用していたテレビや寝具、ミシン、家族写真、亡配偶者の遺影等を持ち込み、自身の作品や頂いた品物等も飾る等、居心地良く過ごせる環境になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内には手すりが設置しており、車いすでの移動がしやすいようにテーブルの配置をしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない